

# 日本ボストン会会報

会長就任挨拶

## 私とライマン家のご縁

### 会長 山村 章

昨年の総会で、鶴正登会長の後任として会長を拝命いたしました。

佐々木浩二前々会長とは慶応義塾大学工学部の同期であり、「ボストン会というのがあるけど会長をやるらないか」とあの笑顔で誘われ、お引き受けすることとなりました。私のような中小企業の現役が引き受けてしまい大変恐縮している次第であります。

1967年にノースイースタン大学大学院に入り、奨学金として月500ドル貰うことができました。当時の日本での我々の初任給は60ドル程だったので、500ドルは大金でした。

後で判ったことですが、これは貰いっぱなしのお金でなく働く代償としての給与でした。大学1、2年の学生に対して熱力学・材料力学などを教える助手としての報酬だったのです。初めから判っていたら尻込みをしたでしょうが、それが結果として幸いました。

翌年には、女房の清子もボストンにきまして、次の年に長女が産まれました。これでは働かないといけない、という事でケンブリッジにあったケムピオン社に修士課程修了と同時に入社しました。初めは数年したら日本に戻るつもりが結局、現在のフェローテック社の創業まで足掛け15年アメリカにおりました。

ボストン市内で長女が、郊外のアーリントンで長男が、そして3年程暮らしたユタ州のブランディングで次男が産まれました。そんな訳でアメリカ、特にニューイングランドにはお世話になっています。

さて、ノースイースタン大学の隣にボストン美術館がありますが、日本美術のコレクションで有名なのは皆様ご存知のことと存じます。私は、こんなに美術品が集まったのも第二次世界大戦の戦利品かと思っておりましたが、実はそうではなかったのです。

初めに就職したケムピオン社のオーナーであるジョーゼフ・ライマン氏は、私の父と同じ年齢であり、有名な科学者で第二次世界大戦のレーダー開発の総責任者でした。私は、彼のお蔭でアメリカにあんなに長く居ることが出来たと思うくらいの大恩人であり、師でした。



ある時、彼が日米通商100周年の記念の楯と三省堂出版の「ベンジャミン・スミス・ライマン先生小伝」(以下B.ライマン)という本を見せてくれました。B.ライマン氏は、ジョーゼフ・ライマン氏のご親戚にあたる方です。

明治政府が当時外国の技術者、教育者などを招いて日本の近代化を進めるなかであのクラーク博士達が招かれました。B.ライマン氏も日本鉱脈探索およびその技術の教育者として招かれたのです。

明治5年来任し、8年間携わっていましたが、彼自身はその結果に満足していなかったようです。一旦マサチューセッツに戻った彼は自費で再来日し、大勢の弟子を雇って仕事をさせました。数年後、彼は北海道や秋田の石炭・石油の鉱脈地図を完成させ、今の平河町に所有していた600坪ほどの土地を屋敷ごと明治政府に寄付しました。

実は、ライマン家は石炭で大成功した名家で、お金に困っていませんでした。明治政府はお金を受け取らないB.ライマン氏に日本の美術品の数々を贈呈したのです。帰国後、明治天皇の誕生日にはハーバードなどの日本人留学生を自宅の晩餐会に招いて、日章旗を掲げた親日家です。

彼の死後、ライマン家はこの美術品をマサチューセッツ州のノースハンプトンの美術館に寄贈しましたが、それがボストン美術館に集められました。それが基で、より多くの日本美術品がコレクションされたのです。

日本ボストン会が、会員とボストンとの絆を保つだけでなく、先人が成した様な日米友好の場として発展できればと願っております。皆様のご健勝と日本ボストン会の発展を祈念し、また皆様からのご指導をお願いいたしまして、会長就任の挨拶とさせていただきます。

## 「ボストン日本人学生会の記録」中間報告

三好 彰

2008年11月13日(木)に「ボストン日本人学生会の記録」の中間報告を行った。IT環境の整った会議室を使わせていただいたNEC社に感謝いたします。

出席者はこの資料の調査を企画された井口武夫顧問を初めする17名であった。主な報告内容を記す。なお、話せなかったことを多少補足した。

記録は四冊のノートと若干のメモからなり、1908学年度から1953学年度までのほぼ半世紀にわたって書き継がれてきている。主な記事は、議事録、出席者名簿や招待者名簿などであり、行事の内容はほとんど書かれていない。大学院で学んだ方がおおいので、一两年で学生が入り替わることもあり、記述内容は時期に拠ってかなり差がある。

登場する日本人(日系人を含む)は約630人である。そのうちの70%がボストン地区で学んだ学生と研究者であり、そのほかは他の地区に留学した人々や短期的な来訪者(マラソン選手など)である。

ボストン地区の留学生を大学別で見ると約50%がハーバード大学であり、ついでマサチューセッツ工科大学が25%、ボストン大学が10%であって、この3大学で85%を越えることでも留学生の質の高さが分かる。

なお、留学生が一人だけの大学にも特徴がある。一例を挙げると、女学生が盲学校のPerkins Instituteで学ばれている。これだけで十分に感動的である。

留学生数の推移を図1に示す。第二次大戦開戦前後に空白期間がある。これは記録集の1冊が行方不明のためである。これが戦後に存在したことは確かなので、何とか探し当てたいものである。

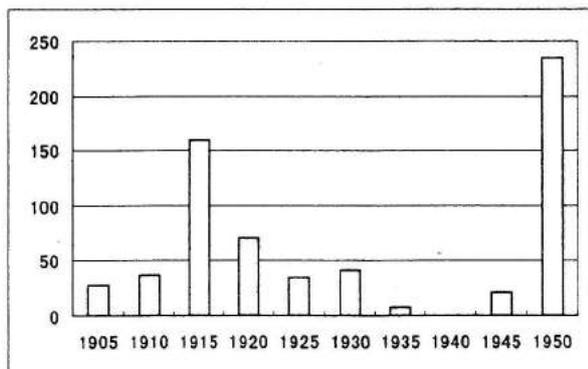


図1：日本からの留学生数の時代推移

第一次大戦中にアメリカへの留学生が目立って多いのだが、それは戦時下の欧州に留学できなかった事情

に拠っている。

交流したアメリカ人の数の時代推移を図2に示す。排日法が成立した1924年以降はアメリカ人と公式的には交流できなかったことを図が示している。

その前段が積極的な行動になっているのはボストン地区以外の留学生と連携をとった全米的な活動だった。そして、この活動を内外の歴史上の著名人が支えていたのだ。一つの良き時代を物語っている。

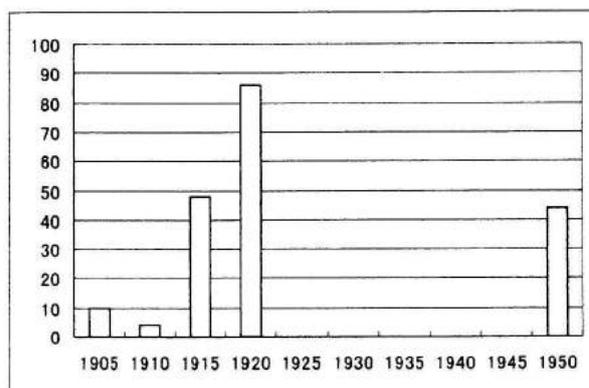


図2：交流したアメリカ人の人数の推移

単純な二つの図であるが、それでも日米の歴史的な関係が浮き彫りになっていると思う。暗い時代は繰り返したくないものだ。

今回はコンタクトできた留学生ご本人とそのご子孫を中心に報告した。これらの関係者からお話を伺うと、留学で始まった交流が帰国後も公私両面で続いていたようだし、それがご子孫の代にも及んでいるケースもあるのは喜ばしい限りである。これらのことが分かる貴重な資料や写真などをお届けいただいた。その一部を中間報告会で使わせていただいた。この機会に改めて感謝申し上げたい。

ご案内のようにボストン地区への留学は明治維新前に始まっており、多くの研究がなされている。しかし、明治末以降についての留学生の総括的な研究はなされていない。それゆえボストン日本人学生会の記録は学術的にも貴重なもので、留学生のことを研究している学会の関係者と意見交換をして纏め上げていきたい。

昨年末に本会のホームページに掲げている本件のデータを更新した。現時点で消息のつかめないのは日本人の4分の1、アメリカ人の半数である。調査を続けるので、今後とも会員各位のご指導、ご協力を仰ぎたい。お気付きのことをご教示いただければ幸いです。

## 日本ボストン会観桜会

恒例の日本ボストン会の花見の会を下記の要領で開催します。

今年は夕方の桜を楽しみたいと思います。知人をお誘いの上ご参加下さい。

申し込み締め切りは3月29日にします。

開催日： 2009年4月4日(土) 午後6時30分

集合場所：千鳥が淵、ボート小屋乗り場付近、  
三井アーバンマンション前。

(地下鉄「九段下」駅下車、2番出口から徒歩10分)

散策ルート：千鳥が淵→靖国神社→武道館付近  
自由散策

懇親会： ホテルグランドパレス(午後7:30~9:30)

レストラン「カトレヤ」

電話 03-3264-1111

千代田区飯田橋1-1-1

参加費用 お一人：6,000円

会費は原則前払いをお願いします。

費用振込み先：

申込先： 幹事 生田英機

## 美術の会、歴史を飲もう会

### 合同開催のご案内

今回は、日本ボストン会元会長、現顧問茂木賢三郎さんのゆかりの、茂木本家美術館美術鑑賞・醤油工場見学を企画いたしました。皆様、是非お出かけ下さい。

集合日時： 平成21年4月26日(日)

午前10時30分

集合場所： 東武東上線「野田市」駅改札口付近

訪問先： 茂木本家美術館 美術鑑賞

(12:30) 館内Cafe MOMOA

キッコーマン野田工場見学

(14:00) ビデオ上映、製造工程見学

参加申込：

歴史の会 幹事 篠崎

三好

美術の会 幹事 酒井

申込締切： 予約の都合上、4月24日(金)

までに、お願いします。

## ゴルフ懇親会のお知らせ

日本ボストン会の平成20年秋期ゴルフ懇親会は、11月27日に、15名が参加して、川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催されました。

近藤宣之さんが優勝、次回は4月23日に開催します。ご参加をお待ちします。

日時 4月23日(木) 8:33 アウトスタート

場所 川崎国際生田緑地ゴルフ場

(小田急向ヶ丘遊園駅下車、約10分)

費用 16,000円、チェックイン時に現金にて支払。クレ

ディットカードは使えません。

参加費 4,000円(参加費・賞品代)

申込数 16名、申し込み順にて締切ります。

幹事連絡先： 山崎恒

会報第32号でもお知らせしましたが、目下、モリシャスへのゴルフ旅行を計画中です。関心をお持ちの方は幹事までお知らせ下さい。

## カラオケの会

日本ボストン会にカラオケ同好会が発足いたしました。カラオケを楽しむのに、上手下手はありません。♪美声はもちろん、悪声(?)も大歓迎です♪

楽しく歌って踊って酔いしれて、カラオケ好きも苦手屋さんもお楽しみいただけます。

懐かしい歌につれて大合唱、英語の歌詞のナンセンスさに改めて驚かされたり、日本の歌詞の心に沁みる美しさを再認識するなど、カラオケ同好会の時は瞬間に過ぎてしまいます。

会員同士の親交と信頼を深め、友好を育む好機となることを願っております。

第1回 2008年9月8日(月)

新宿京王プラザ47階 KARAOKE、7名参加。

第2回 2008年11月30日(日)

赤坂 沙弥、8名参加。

第3回 未定

問合先： 幹事 水野・鶴顧問

2008年11月30日(日)開催

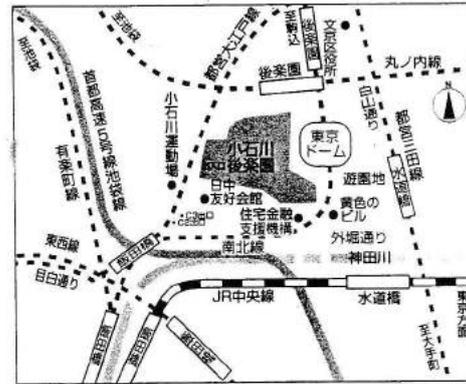
## 紅葉狩り (小石川後樂園)

小石川後樂園は都心とは思えない素晴らしい公園です。この場所は東京ドーム野球場に隣接し、園内は緑樹に恵まれ「もみじ」が多く、紅葉の時期には、都心にいることをしばし忘れることができます。

交通機関はJR総武線「飯田橋」駅東口から徒歩で8分、都営地下鉄大江戸線「飯田橋」駅C3出口から徒歩2分という至近距離にあります。その他、東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園」中央口から徒歩8分で行けます。また東京メトロ東西線・有楽町線・南北線「飯田橋」A1出口からも徒歩8分で行けます。入園料は300円、65歳以上半額です。

小石川後樂園の入り口は一箇所、快晴に恵まれた午後3時に集合、園内の紅葉を楽しみました。

この庭園は、江戸時代初期(1629年)に水戸徳川家の祖である頼房が造りはじめ、二代目の光圀の代に完成しました。庭園の様式は池を中心にした回遊式築山泉水庭になっています。光圀は、造成にあたり明の遺臣朱舜水の意見を用いて、円月橋、西湖堤など中国の風物を取り入れ、園名も舜水の命名によるなど中国趣味豊かな庭園になっています。



<http://www.tokyo-park.or.jp>

08.09

ゆっくり園内を一周して1時間強、遅れて参加された方も含めて25名が参加、途中、記念写真も撮影し、午後4過ぎに解散しました。

このあと、2次会は隣接の後樂園駅ビルの6階にあるASIAN KITCHEN\*に移し、19名の会員が珍しいヴェトナム・タイ料理を楽しみました。食事中に、幹事が準備した小石川後樂園に関するクイズ10問が出され、島田夫人が1位、生田氏がじゃんけんで負けて2位、3位が吉田夫人でした。賞品は鶴夫人が推薦された有馬温泉の三森本舗の炭酸センペイでした。十分に楽しみ、午後7時前に解散しました。(\*Tel.03-5802-7321)

来年も是非ご参加下さい。

幹事： 藤盛紀明 富美子、水野賀弥乃



## クルージングの会

\*クリスタル セレニティー (68,000トン 乗客定員 1,272人、40ヶ国からの乗組員、655人)  
本船は米国 L. A. を09年1月21日に出港、横浜には同年4月16日(木)に入港します。横浜をはさんで2つの何れかの区間乗船ができます。

A. 4月4日～16日(13日間): 香港→アモイ→上海→長崎→大阪→清水→横浜

B. 4月16日～5月7日(22日間): 横浜→小樽→カムチャッカ ペトロバプロフスクカムチッキー  
→アラスカの4港→バンクーバー→ヴィクトリア→S. F. →L. A.

\*バイキング スピリット、欧州内のリバークルーズで、ドナウ川～運河経由～ライン川～横断旅行。(久米参加)

C. 8月30日～9月15日(船中15泊): 空港→乗船(ハンガリー)→ブタペスト(船中1泊後)→(スロバキヤ)  
プラチスラバ→(オーストリア) ウィーン→メルク→(ドイツ) パッサウ  
→レーゲンスブルグ→ニュールンベルグ→バンベルク→ヴェルツブルグ  
→ローテンブルグ→ワーティム→マインツール→ルーデシエム→ケルン  
→(オランダ) アムステルダム(船中1泊後) 下船→空港より帰国

詳細およびお申し込みはクルージング幹事まで 久米生光

(酒井一郎)

## 2008年度 日本ボストン会紅葉狩り クイズ

- 赤く紅葉しない木の種類はどれか  
① ヤマモミジ ② ツタウルシ ③ イタヤカエデ ④ ナナカマド ⑤ ヤマザクラ
- 小石川後樂園は国内外の名勝を取り入れ、中国杭州市の西湖の風景を取り入れています。西湖の記述の間違いはどれか。  
① 美人西施の入水で有名 ② 最も深いところでも2.8m. ③ 秦の始皇帝も見た ④ 楊貴妃も良く遊んだ  
⑤ 今は淡水湖だが本来は干潟であった。
- 小石川後樂園は特別史跡と特別名勝に指定されています。都立庭園でこの二重指定されているのは次のうちどれか。  
① 浜離宮恩賜公園 ② 清澄庭園 ③ 六義園 ④ 向島百花園 ⑤ 旧古河庭園
- 二重指定を受けている庭園は都内2庭園の他日本国内に7庭園があります。次の庭園で二重指定でないのはどこか。  
① 金閣寺 ② 銀閣寺 ③ 巖島 ④ 醍醐寺三宝園 ⑤ 桂離宮
- 小石川後樂園は回遊式泉水庭園です。以下の庭園で回遊式泉水庭園でないのはどの庭園ですか。  
① 早稲田の甘泉園公園 ② 旧芝離宮恩賜公園 ③ 武蔵野の殿ヶ谷公園 ④ 沖縄記念公園(海洋博公園)  
⑤ 細川家下屋敷を改装した新江戸川公園
- 水戸黄門とは水戸藩主で中納言、権中納言に任命された人です。水戸黄門は何人いたでしょうか。  
① 3人 ② 4人 ③ 5人 ④ 6人 ⑤ 7人
- TBSの水戸黄門シリーズは今まで5人の黄門俳優がいます。シリーズ数の最も短かった黄門俳優は誰ですか。  
① 東野英治郎 ② 西村晃 ③ 佐野浅夫 ④ 石坂浩二 ⑤ 里見浩太郎
- 水戸黄門は天下の副将軍と呼ばれています。日本歴史で副将軍で無かった人は誰か。  
① 坂上田村麻呂 ② 毛利輝元 ③ 水戸光圀 ④ 清和源氏の祖先経基王 ⑤ 足利尊氏の弟足利直義
- 小石川に関する記述で間違いはどれか。  
① 小石川は1丁目から5丁目までである。  
② 小石川はかつて存在した川だが現在は暗渠になっている。  
③ 啄木がかって住んでいた。  
④ 東京都にはかつて小石川区があった。  
⑤ 小石川植物園の住所は小石川にある。
- 後樂園では岡山後樂園が有名です。岡山後樂園の記述で間違いはどれか。  
① 江戸時代に築造 ② 藩内の人々も観照できた ③ 特別名勝である ④ 岡山の藩主は池田  
⑤ 65歳以上は割引有り

(回答は11頁参照)

## フェノロサ、ビゲロウと三井寺法明院 (IV)

山口 静一

## 【11】 フェノロサ、日本美術への傾倒

政治学教授として招聘されたフェノロサに、大学当局は理財学(経済学の旧称)と哲学の講義も依頼しました。スペンサーの総合哲学を専攻したフェノロサは、最新の社会進化論学説を紹介して Political philosophy を、J.S.ミルらの経済学説を解説して Political economy を講義し、またシュヴェーグラーの哲学史(英訳本)によって西欧思想史を教え、向学心に燃える学生たちを大いに満足させました。初期の教え子たちに井上哲次郎、岡倉天心、嘉納治五郎、高田早苗、市島春城、坪内逍遙らがいます。

美しい花鳥画をおみやげに買って帰国する他のお雇い外国人と同様、フェノロサも人気ある画家の作品を買っていましたが、やがてその買い方が他の外国人とは異なってきました。好きだから買う、良いから買うのではなく、いかにも社会進化論学徒のように、画家の流派・系統を追って購入するようになったのです。これは来日して二年足らずのことで、学生だった天心や有賀長雄がその方面の調査の手伝いをしています。

明治13年の夏休みには古美術蒐集のため卒業直前の天心を通訳に同行して関西旅行をするほど研究が熱を帯びてきました。翌年には美術史研究の成果が現われ、一流の蒐集家・古画鑑定家として知られるようになります。(十月二十四日『東京日々新聞』)

フェノロサは来日当初、二期4年間の東京大学在職を予定していたようです。しかし明治15年以降国粹主義的思潮に乗って美術行政も西洋画推進から日本美術復興へと転換し、フェノロサはその運動の牽引役としての留任が望まれます。フェノロサ自身、月給300円という莫大な俸給は手放したくはなかったでしょう。(4年後の明治19年には大学から文部省・宮内省に転職、名実共に美術行政官になりました。)

## 【12】 ビゲロウの来日

明治15年6月には、3年前東京大学理学部を満

期退職したモースを伴ってボストンの富裕な美術蒐集家ウィリアム・スタージス・ビゲロウが来日しました。陶器蒐集家のモースは半年ほどの滞日後ヨーロッパ経由で帰国しますが、ビゲロウはその後8年間、フェノロサと共に蒐集活動を続けます。フェノロサは古画専門でしたが、ビゲロウは仏像、浮世絵をはじめ根付、鏝、舞樂面から能衣装まで、日本美術全般にわたるものでした。これらが現在のボストン美術館(MFA)日本美術コレクションの中核となっています。

ビゲロウは、祖父がMITの創設に関った医学者、父はハーヴァード医科大学教授で大統領の侍医というボストン名門の医家に生まれました。フェノロサより3歳年長です。大学卒業後ヨーロッパに留学、パリのバストゥール研究所等で細菌学を専攻しましたが自ら医学者に不適と考へ、莫大な資産を美術品蒐集に充ててはMFAに寄贈を重ね、総計5万点に及んだといひます。ちなみに、MFAのフェノロサ蒐集品は1千点余りでした。

モースやフェノロサを説得し、蒐集品を将来ボストンに集めMFAを日本美術の府たらしめようと提案したのもビゲロウでした。約束を守ったモースは、時価10万ドルの値のついた日本陶器コレクションをMFAの募金による7万6千ドルで納入、フェノロサもコレクションをウエルド(Charles Goddard Weld, 1857-1911 明治18年訪日の蒐集家)に譲渡する際、MFAへの寄託と遺贈を条件としました。(これは余談ですが、一説に25万ドルと言われたフェノロサの売却金はその後どうなったのでしょうか。文部官僚だった木場貞長(1859-1944)が退官後の回想に、「惜しげもなく某所に寄贈された」と記しているのが気になっています。)

フェノロサの蒐集品中すぐれて美しいのが平安佛画でした。「普賢延命菩薩像」「馬頭観音像」「如意輪観音像」などは、ビゲロウ蒐集の「法華堂根本曼荼羅(奈良時代)、西智作」「聖観音坐像(鎌倉時代)とともにMFA蔵品の白眉と言える名品です。このような作品を生んだ仏教に、二人は当然関心をもったに違いありません。

フェノロサ、ビゲロウと三井寺法明院(IV) 続き

## 【13】 赤松連城との仏教対話

赤松連城(1841-1919)。浄土真宗本願寺派の僧侶で島地黙雷とともに本山の改革に当たり、明治8年、2年8ヶ月に及ぶイギリス留学から帰国後は宗門教育の改革に尽力、のちに大学林総理・仏教大学長・執行長など宗門の要職を歴任した人物です。英語に堪能なところから、関西古社寺探訪のフェノロサ、ビゲロウとは親しい間柄になっていました。

明治17年11月30日(日曜日)のことです。上京中の赤松連城が神田駿河台のビゲロウ宅を訪れたとき、たまたまフェノロサがやってきました。「その声はアカマツではないか」と言いながら部屋に入ったフェノロサは、京都で会って以来の近事を話した後「せっかくの機会だから我が家へ来ないか」と、本郷加賀屋敷の大学教師館(現東大本郷キャンパス建築科付近にあった)に二人を招きました。昼食後、話は哲学のことに及びます。

フェノロサが「ヨーロッパの哲学のなかで、自分はヘーゲルの物みな三個相依って成るの理(弁証法の正反合三段階論理)を信奉している」と述べ、「神があれば魔があり、もしこの二つのみならば終始相戦わざるを得ぬわけだが、第三位に前の二者を統合したより高い判断があって、その宜しき得ることができる」と解説します。

すると連城師は、仏教でも、有空中(ウクウチュウ)の三時、空仮中(クウケチュウ)の三諦(サンダイ)、また遍計所執性(ヘンゲシヨシユウシヨウ)・依他起性(エタキシヨウ)・円成実性(エンジョウジツシヨウ)の三性の教理のあることを紹介し、「ヘーゲルの物みな三を以って成るとの説は、例えば宗教(一)と学術(二)とを合成統一するものが仏教(三)ということになりませんか。また勢至菩薩は知恵を、観音菩薩は慈悲を司りますが、この知恵と慈悲とを兼有するのが阿弥陀如来と説くのは浄土真宗の常識です。これも三を以って成るの理に当たるのでは」といいますと、フェノロサは手を拍って「仏教には既にそのような高尚な説があるとは知らなかった」と大いに嘆賞します。

連城はフェノロサに、是非仏教を研究して哲学者の公平な立場からキリスト教との優劣を判定して欲しいと要望し、さらに語を継いで「本地垂迹(ホンチ



聖観音坐像(鎌倉時代・滋賀県金剛輪寺旧蔵)  
ボストン美術館蔵(ビゲロウ コレクション)

スイジャク)の説を紹介しました。まず「空気が膨張すれば圧力を生ずるという原理(プリンシプル)が本地、これによってジェームズ・ワットが蒸気機関という形(フォーム)あるものを発明したのが垂迹」と解説した後、「慈悲の理があつて観音菩薩という迹を生じ、知恵の理が勢至菩薩の迹を生じたもの。かの千手観音は一見奇つ怪な像容ですが、これは百能具備の理と慈悲の理によって遂に柔和忍辱の容貌と千手の迹を現したもので何ら怪しむにあたりません。」

フェノロサは再び手を拍って驚き、そのようなことを仏教は説いているのか。あなたはアリストテレスを学んだことがあるのかと尋ねます。連城が首を振ると「プリンシプルからフォームを生ずるという本迹の説はまさにアリストテレスの哲学の説くところ。仏教にこの説あるとは、今まで聞いたこともなかった」とさらに驚嘆して止みませんでした。居合わせたビゲロウも同様だったと思います。(以上は明治十七年十二月発行『万報一覽』第54号の「学術教育」欄に掲載された記事です。)  
(埼玉大学名誉教授、前名古屋ボストン美術館長)

4月18日(土)から「ゴーギャン展」および「ノリタケデザイン100年の歴史」が開催されます。

## Bill Parkinson と尾長鳥

吉野 耕一

Harvard 大学天文台で 30 年間の同僚 Bill Parkinson は、Boston 郊外西へ 50km の田舎町 Harvard のリンゴ園農家を買って住んでいる。つまり毎日 Harvard から Harvard まで通勤していた。広い敷地の片隅に鳥舎を建て、雉をはじめ十数羽の珍しい鳥を飼育していた。その中に土佐の尾長鳥がいたが、尾が 50cm 位にしか伸びなかった。土佐の尾長鳥の尾の長さの記録は 15m 位とか、高知に行って本場の鳥の飼育を見ることを提案した。

二人とも退職した後の 2008 年尾長鳥の旅を企画し、高知、松山、広島各 2 泊、JR パスを使った 1 週間の旅とした。主目的の高知に隣接した私の故郷松山、海を渡った広島は原爆の記念地として加えた。本人は米国人として、広島行きに躊躇していたが、フィル夫人の意見に従って訪ねることに同意した。

11 月 7 日、新幹線で東京、新大阪、岡山を經由し高知入り、JR パスは「のぞみ」に乗車出来ないためにこのような乗り換えになった。JR 東海だけの反対で、外国人の「のぞみ」乗車が不可能になっている。岡山から土讃線に乗り換え、瀬戸内海横断の橋、吉野川溪流、大歩危、小歩危の景色を楽しんで高知に着いた。新阪急ホテル到着後高知城を散策、城内を走っていた女子高校生達と英語での会話を楽しんだ。

翌朝車を借りて、長尾鳥センター(誤植ではない)を訪ねた。詳しい内容は Parkinson 氏の別項を参照。女系 3 代で尾長鳥の飼育を細々と続けておられ、国の援助もえさ代だけとのこと。貴重な鳥の継続にもっと行政が広報、新科学の採用等の援助を考えるべきである。

午後は伊野町の紙博物館を訪ね、和紙の歴史と最近の発展を学んだ。最近、日本画用の和紙の生産に指定されたニュースを聞いた。

同月 9 日、松山への旅程はローカルな予讃線経由とした。一両だけの客車が四万十川沿いにゆっくり走って宇和島に向かう。Los Angeles からの日系女性を含む数人の外国人観光客と地元の人たちとの会話が車内は和み、沈下橋の説明などをしながら 2 時間の旅は宇和島で終わった。予讃線で松山に着き、松山最古の旅館「ふなや」に宿る。浴衣は cm 単位で用意され、仲居さんが全員の身長をびたりと当て



Bill Parkinson と尾長鳥 (英文別項参照)

た。道後温泉の町並みを散歩し、旅館の内湯で疲れをほぐして、日本に来て初めてのフルコースのフランス料理で満足の様子。翌日は松山城と古都大洲の観光で過ごした。

同月 11 日、松山から広島はフェリーにした。高速船よりも瀬戸内海をゆっくり楽しむため、音戸の瀬戸を通過して、帝国海軍の拠点だった呉経由で広島港へ、宇品入港直前右手半島の先端に聳え立つ建物が広島の宿プリンスホテルだった。

到着後すぐ原爆記念館に向かった。50 円の入場料を払って入館、明治以後の広島の歴史から展示が始まる。フィル夫人は歴史を丁寧に読んで、原爆投下の歴史が始まるまでかなりの時間が過ぎた。この間団体の中高生が嵐のごとく追い越していった。原爆展示の後には言葉少なく記念館を後にして、原爆ドームに至った。暮れかかったドームの上に満月に近い月が見えた。

同月 12 日、夫人達はホテルに残り、男二人は安芸の宮島に向かった。路線バスと JR で宮島に着き、厳島神社参拝、折からの干潮で鳥居あたりまで沢山の観光客が歩いていた。やや早い紅葉を愛でながら紅葉谷を歩き、帰路はホテルまで直行の高速船で広島湾を横断した。

同月 13 日、広島からは新大阪経由で東京に午後 4 時に帰り、6 時からの日本ボストン会総会に出席した。

ビルはそこで長尾鳥センター訪問の話をしたが、彼が日本の方々に伝えたかったのは、貴重な尾長鳥の飼育の継続が困難な情勢にあることだった。

## THE LONG-TAIL FOWL, ONAGADORI (PHEONIX)

BILL PARKINSON

In the 1990's, I asked my friend and colleague at the Harvard College Observatory, K. Yoshino, if he knew the Japanese chicken, called Onagadori, and he replied that they came from an area in Japan near where he was born. On his next trip to Japan he visited the Center for Onagadori in Kochi to see them. He came back to report that the Center had birds and was happy to have visitors.

We planned to visit when we both had retired and this November, we traveled with our wives around Japan for ten days, including a few hours at the Center for Onagadori at Kochi. This is a small museum with live birds and many old photos of important visitors. We met three, fine looking ladies, the grandmother, mother and daughter. We were shown around by the daughter.

The Japanese birds have long tail feathers because they do not lose (molt) these feathers. The feathers grow about 20 inches per year so birds can grow tail feathers 6 feet to 25 feet long. The record is 14.75 yards.

(The American version called the Pheonix chicken molts its tail feathers every year so they are never longer than about 24 inches.)

At about 6 months old the cock birds are taken off the ground, and raised singly, in tall narrow boxes about 6 feet tall, 2 feet wide and 1 foot deep. These boxes have been used for at least 150 years. The bird roosts on a perch in the top of the box where it can easily reach food and water, and see out through wooden slats. The tail are draped over a hook or rod so that the feathers are well away from the body and off the floor. The birds are taken out for cleaning and exercise each day.

We were told that the birds are only allowed to breed in the first year. Only about 6 eggs are laid each year, with only one success in 70 eggs last year. (My Pheonix hens lay two or three eggs per year and I could most of these to new chicks.)

The cock bird I was allowed to handle at the center was the color we would call silver in the U.S. There are 'gold' ones too. He seemed a little lighter in the weight than my birds but very similar except for the tail that was at least six to seven feet long. The only hens we saw were two taxidermy specimens and they appeared to be larger than my Pheonix hens.

We were also shown a one year old beautiful white Onagadori cock. His tail was about 24 inches long and he had very yellow legs and feet. Interestingly, we had heard no sounds in the building, i.e. no crowing, until this white bird was out of his box and then crowing started from many of the 10 boxes in the room. The crowing sounded 'normal' to me except it lasted longer in the middle with a sort of whiny ending.

We were told that it took tens of generations to produce the white bird. During the war years (1932-1947), most of the birds were lost and at the end, the Ministry of Education found that only 3 white males, 6 females and 2 mixed females survived.

My personal view is that the Center for Onagadori is a unique and important collection and could use some support, some additional staff and perhaps some modern breeding methods. I asked the women showing us around candling eggs and asked if artificial insemination (AI) was ever tried and she replied that she had heard of both but never tried either. AI is very successful with poultry and with some breeds of pheasant where are few breeding pairs or where few eggs are laid each year.

## Paul Cézanne (1839~1906)

1月12日(日)横浜美術館にて“セザンヌ主義”展を鑑賞する。

セザンヌの生家のあるエクス・アン・プロヴァンスは美しい水の都の田舎町、その町の東にそびえるサント・ヴィクトワール山をセザンヌは、晩年まで繰り返し描き続けた。

今回の展覧会で注目すべきセザンヌの作品“サント・ヴィクトワール”(1892-95)横浜美術館蔵 はエクスの市外から20kmは離れた中世の香りを残す町、ガルダンスから見たヴィクトワール山を描いている。

前景に描かれたマッサ状の青緑の木のはるか向こうに見えるヴィクトワール山は、淡い色調を帯び優美さを讃えている。色数も少なく簡潔で幾何学的構成である。

セザンヌが最晩年に描いた秀作“サント・ヴィクトワール山とシャトー・ノワール”(1904-06)ブリジストン美術館 は前景にしばしば描かれていた松ノ木やパノラマ風景はもはや見られない。リズムカルなタッチで塗られた青緑の草むらが山を取り囲んでいる。薄いブルーグレイのヴィクトワール山そのものが強く眼前に迫ってくるようである。シャトー・ノワールのオレンジが山を際立たせている。後の描象画を思わせる表現である。

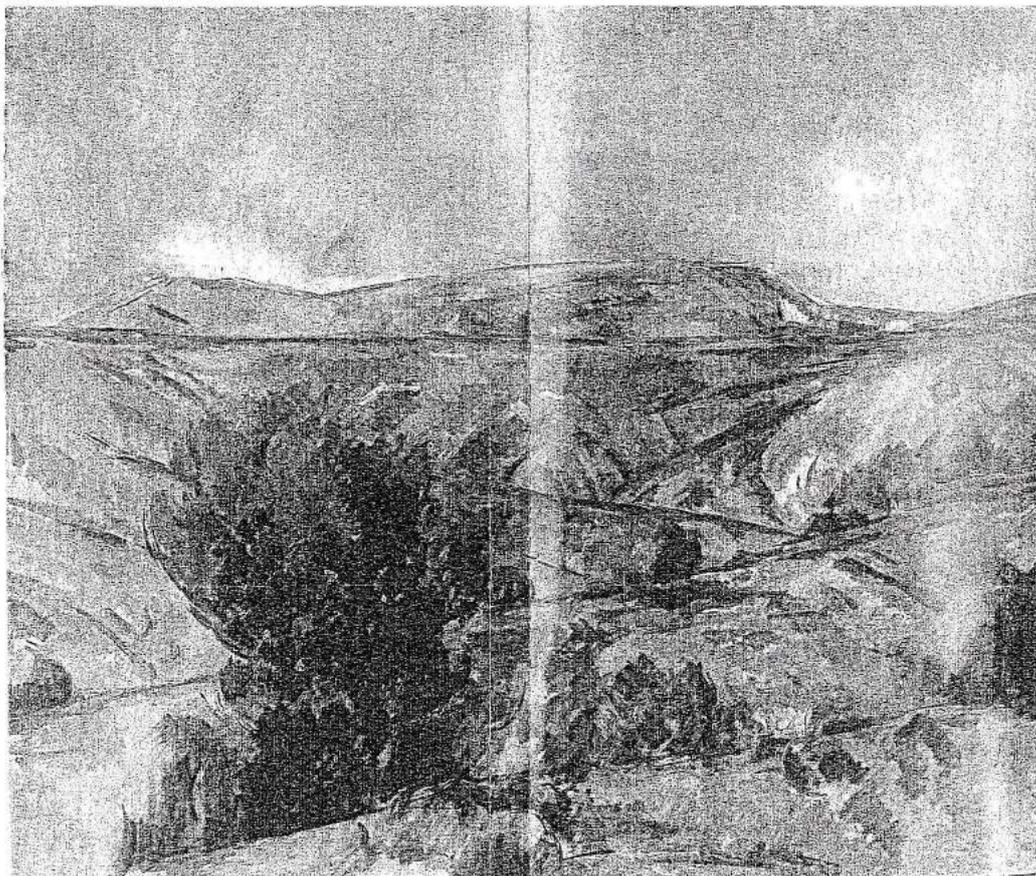
日本の多くの美術館でセザンヌの作品に出逢えることは、とても嬉しいですね。

1月21日訪れたポーラ美術館(箱根)でも、初期から晩年まで9点の作品が見られましたが、残念、ヴィクトワール山の作品はありませんでした。

(美術の会 酒井典子、1月25日)



サント・ヴィクトワール山とシャトー・ノワール  
(1904-06年頃)



サント・ヴィクトワール山(1892-95年)

書評(文春図書館、9月25日号、127頁)抜粋転載

## 音楽の会のお知らせ

## 私の読書日記 『開戦神話』(立花隆)

X月X日

パール・ハーバーの奇襲攻撃は、日本に大戦果をもたらしたが、それが開戦通告なしに行われたものであったが故に、日本は今日にいたるも「卑怯な騙し討ちをする国」の汚名を着せられている。

本当は対米通告が奇襲の30分前に手交される予定になっていたのに、それが奇襲後になってしまったのは、在米大使館の怠慢によるもの(暗号解読と翻訳とタイピングの遅れ)というのが、これまでの通説。

だがその通説は本当なのか。井口武夫『開戦神話』(中央公論新社 2000円+税)はそうではないという。著者は、国連参事官、ニューージーランド大使などを歴任した元外交官。軍事資料、外交資料、関係者の直話などを詳細に集めて分析を重ね、おそらくこれ以上のものは今後とも出るまいと思われるほど、真相に肉薄している。

真相とは何か? 参謀本部が作戦の成功を期すため、対米通告を遅らせるように圧力をかけたことである。パール・ハーバーは単独の作戦として計画されたものではない。パール・ハーバーの対米開戦と同時にマレー半島で対英開戦(コタバル上陸作戦)がなされる予定になっていた。ところがドタン場になってパール・ハーバーの攻撃開始を1時間半遅らせることになった(攻撃隊の夜間発艦を避けた)。コタバルは予定通り開始したため同時作戦は不可能になった。

コタバルに合わせて対米通告したりしたらパール・ハーバーは奇襲にならない。さらにギリギリのところでもルーズベルト大統領の天皇宛親電が入ってきた。これを軍部がおさえて開戦前に天皇に見せないようにした。外務省はこれ入手しそれに合わせて対米通告文を修正しようとした。そのすべてが、対米通告文の最終パラグラフの発信(これが遅れて通告遅れとなった)に折り重なることになった。これら遅延工作のすべてにからんでいたのが、当時の参謀本部作戦課にいた瀬島龍三参謀だったという私話もある。

分きざみの詳細な分析がまるで推理小説を読むようだ。この執念の分析をした著者は、実は、開戦通告文手交の遅れの責任者とされてきた開戦時在米大使館参事官井口貞夫氏の息子(当時小学校五年生)なのである。本書には親子二代の執念がこめられている。

## 紅葉狩り クイズ(5頁) 回答

1問	③	2問	④
3問	①	4問	⑤
5問	④	6問	⑤
7問	④	8問	③
9問	⑤	10問	⑤

新緑爽やかな春月にピアノ、ホルン、オーボエによるささやかなホームコンサートを計画しました。

ボストンで腕を磨いた新進気鋭の4人の演奏家たちによる、親しみやすく、楽しいプログラムとなります。

なお、会場の関係で、30名で申し込みを打ち切らせて頂きます。会場への詳細は別紙をご覧ください。

出演: ホルン 笠原 慶昌  
オーボエ 西入 優子  
ピアノ 大沼 岳彦、大沼 千晶

日時: 5月16日(土)

コンサート: 午後3時~5時

懇親会: 午後5時15分~7時

場所: 大田区田園調布4-11-6 関宅  
東急電鉄 田園調布駅下車、西口から  
徒歩700m 宝来公園脇を歩く。

会費: お一人¥6,000 (高校生以下¥5,000)

申込先: 音楽の会 幹事 関 直彦・尚子

## 第63回幹事会記録

日時: 2009年1月16日(金) 18:30-20:40

場所: NEC三田ハウス、芝クラブ、21名出席

\*事務局: 新入会員: 扇原浩志、松山健治、大沼岳彦3名。

\*鶴経子氏幹事就任: 承認。

\*2008年度総会報告: 09年度は50名参加を目指す。

今年度総会は11月13日(金)を予定。

\*「ボストンへようこそ」頒布: 10月以降7冊頒布。

\*美術の会: 次回4月26日を予定。(別項参照)

\*紅葉狩り: 次回は11月29日(日)、又は12月5日(土)

\*カラオケの会: 幹事を水野・鶴顧問に変更。(別項参照)

\*お花見の会: 4月4日(土)ライト・アップの時間帯(午後6時半~)にずらして開催を計画。(別項参照)

\*クルーズの会: (別項参照)

\*音楽の会: オーボエ、ホルン、ピアノのコンサートを予定。(別項参照)

\*ゴルフの会: 4月23、又は24日。(別項参照)

\*ハイキングの会: 山の会と合同して企画。山歩きは  
當間・鶴顧問が担当、ハイキングを幸野幹事が担当。

\*HP: 最近の利用状況を報告。

\*会報発行計画報告: 第33号は1月末原稿締切、3月2日発送予定。第34号は8月末原稿締切、10月初発送。

\*次回幹事会: 6月12日(金)開催予定。

日本ボストン会の次回総会は2009年11月13日(金)開催を予定します。

## 日本ボストン会 2008年度総会報告

日時：2008年 11月 13日(木)午後 6時半～8時半

場所：NEC 三田ハウス芝クラブ

議事：会長挨拶、会員紹介、会計報告、活動報告

出席者：49名

遠隔地参加者：吉野耕一夫妻、B. Perkinson 夫妻。

会員紹介：山村章夫妻、法眼健作夫妻、島田夫人、  
河東哲夫先生、林泰紀氏、松山健治氏、  
小板橋忠志氏、折田純一・美代子夫妻。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
日本ボストン会の総会は定時に、近藤宣之副会長の司会  
で開会しました。

まず、鶴正登会長が任期中のエピソードとして、会長判  
断でお花見の日取りを繰り上げて早すぎた花見になった  
失敗談とか、会員増強のために本日ゲスト参加の娘夫妻を  
入会させたいと披露され、2年間の任期を終えるご挨拶を  
いただきました。

次に井口武夫顧問に、ボストン会の益々の発展を祈って  
乾杯のご発声をお願いし、懇親の場に移りました。

しばし懇談の後、司会者がボストンから参加された吉野  
耕一夫妻をご紹介され、吉野顧問からハーバード大学のピ  
ル・パーキンソン夫妻のご紹介があり、珍しい高知の尾長  
鳥の話伺いました。(別項参考)

次に佐々木浩二顧問から、今年から当会会長をお願いす  
る山村章(株)フェローテック社長をご紹介戴きました。山村  
新会長は、ご自身が67-69年にノースイースタン大学  
大学院に留学、卒業後に就職した企業のオーナーがボスト  
ン美術館に縁があったことを披露されて、奥様をご紹介い  
ただきました。(別項参照)

退任される鶴正登会長からは、次次期の会長をお願いす  
る法眼健作(株)技研工業(株)取締役を紹介いただきました。  
法眼次次期会長からは、最近の世界情勢の混乱を見る時、  
もし8年前の米国大統領選挙におけるフロリダ州の投票の  
混乱がなく、フロリダがブッシュではなくゴアに行ってお  
れば、世界の状況は全く違った展開になったであろうとい  
うお話をされて、奥様をご紹介いただきました。

茂木賢三郎顧問からは、総会前に開催された三好彰氏の  
power point を駆使した日本人学生会の中間報告を高く評  
価されるご挨拶をいただきました。

司会者から紹介された三好彰氏は、過去3年間の留学生  
の記録の整理した経緯を報告、やっ象の背中に触れた程  
度で、関係者のご協力を得て更に調べを進めたいと抱負を  
述べられました。(別項参照)

鶴顧問からは、ご家族の折田純一・美代子夫妻をご紹介  
いただきました。新会員として米国生まれの2世がご参加  
いただけることになり、今後の活動範囲の拡大が期待でき  
ます。

初参加の島田夫人は、ご主人がハーバード大学に3年間  
おられ、ボストン日本人会の婦人部にお世話になったこと

があり、吉野先生夫妻の来日を知り、参加されたと自己紹  
介されました。

久しぶりに参加された林泰紀氏は、総会にゲストで参加  
された松山健治氏をご紹介されました。松山氏は現在、ボ  
ストンから戻られた方々のゴルフ会の幹事をされている  
とのことで、当会の会員の範囲が広がることが期待されま  
す。

小板橋忠志氏は、法眼大使がボストン総領事の折にお世  
話になった旨自己紹介されました。

河東哲夫先生(元ウズベキスタン大使)は現在、早稲田大  
学大学院客員教授として国際問題をテーマにご研究をさ  
れていると、近況を報告されました。

なお、司会者は井口武夫先生が最近、太平洋戦争におけ  
る対米通告の遅れが、現在まで通説として言われてきたワ  
シントンの日本大使館側の事情ではなく、参謀本部が意図  
的に在米大使館宛の打電を遅らせる工作を行ったことを  
検証された結果をまとめた「開戦神話 対米通告はなぜお  
くれたか」(中央公論新社)を上梓されたことを披露し、井口  
先生を紹介されました。(別項参照)

ついで、各 W.G. の報告に入りました。

\* 会報発行：第 33 号は 1 月末締切、3 月初旬発行。

第 34 号は 8 月末締切、10 月初旬発行。

\* ゴルフの会：11 月 27 日開催。(別項参照)

\* 紅葉狩りの会：11 月 30 日開催。(別項参照)

\* カラオケの会：(別項参照)

初回は 9 月 8 日新宿京王プラザホテルで開催、次回は紅  
葉狩りの後で、開催を予定と報告。

\* 美術の会・歴史を飲もう会合同：08 年は鎌倉・大谷記  
念美術館、次回は茂木本家美術館(千葉県野田市)訪問。

2009 年 4 月 26 日(日)(別項参照)

\* クルーズ会：(別項参照)

\* 歌う会：練習会場が見つからず休会中。

\* 「ボストンようこそ」配布状況報告。

\* 会計報告：

幹事より第 16 年度(2007 年 9 月～2008 年 8 月)会計報告  
を受け、出席者のご承認を得た。

収入の部(含繰越金)： 1, 134, 602

支出の部 480, 130

残高(次期繰越金) (A) 654, 472

ようこそ特別会計残高 (B) 716, 700

ボストン会資産 (A) + (B) 1, 371, 172

\* 観桜会：09 年 4 月 4・5 日頃(別項参照)

\* 音楽の会：幹事から自宅での開催を考慮中と報告。

\* 山を歩く会・ハイキングの会：考慮中と報告。

\* 事務局：会員で体調の具合、介護の都合で 2 名の方から  
退会のお申し出があったと報告あった。

最後は、恒例の藤盛紀明副会長のご発声による三本締め  
の拍手で閉会いたしました。(俣野善彦)